※令和４年度以降入学生用

学校番号	３００２

令和５年度　農業科（ハイテク農芸科）

教科	農業	科目	総合実習	単位数	４単位	年次	１年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本校で学ぶ農業の各分野に関する基礎的な知識と技術を体験的な学習を通して習得します。特に、栽培管理や農業の経営について興味、感心を持ち、２年次以降の専門的な学習につなげていきましょう。１年次は、作物、野菜、果樹、草花・造園をローテーションしますが、２年次からは専攻を選び、さらに高い専門性を身につけていきます。そのため、毎回の実習では、その専攻の実習の目的や内容をよく理解し、積極的に取り組むことによって確かな技術を身につけること。さらに、自らの課題を発見し、その解決のためや将来の進路などを考えて専攻を決めること。そして、農業の意義や役割を理解し、農業学習への意欲を高め、仲間や地域などとの連携も考慮し、課題研究、農業クラブ活動として発展させることを期待します。

２　学習の到達目標

・農業の栽培分野に関する基礎的な知識と技術を習得する。
・経営と管理について興味関心を持ち、進路を考慮した専攻の選択ができる。
・農業の意義や役割を理解し、専門的な学習につなげる意欲と態度を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・植物の栽培分野に関する基礎的な知識と技術を身につけ、その技術を適切に活用している。 ・植物生産や経営管理についての知識や技術が身に付いている。	・植物の栽培状況や実習内容等について学んだことを理解してノートやレポートに整理してまとめることができる。 ・植物の栽培や経営管理に関して、わかるまでよく見聞きし、自分で考えて文章や図表にすることができる。	・栽培分野における専門的な知識・技術を主体的に学ぼうとする意欲がある。 ・責任を自覚して、植物の栽培管理に向かう姿勢、経営について考える姿勢がある。 ・植物の栽培状況や変化、生産物などの評価、付加価値に対して興味関心をもち、よりよい生産に向けた改善・向上をめざす姿勢が見られる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	専門技術と経営管理	栽培管理の知識と技術 経営管理の知識と技術 級位検定 各種発表会への参加	a: 時季に応じた専門知識と技術、経営管理について理解し、基礎的・基本的な技術を身につけている。 b: 時季に応じた専門技術と経営管理における諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c:時季に応じた専門技術と経営管理に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。	実習記録簿 レポート 学習状況の観察 農業クラブ級位検定	実習記録簿 レポート 農業クラブ発表会	学習状況の観察 農業クラブ発表会 自己評価
2学期	専門技術と経営管理	栽培管理の知識と技術 経営管理の知識と技術 級位検定 各種発表会への参加	a: 時季に応じた専門知識と経営管理について理解し、基礎的・基本的な技術を身につけている。 b: 時季に応じた専門技術と経営管理における諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c:時季に応じた専門技術と経営管理に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。	実習記録簿 レポート 学習状況の観察 農業クラブ級位検定	実習記録簿 レポート 農業クラブ発表会	学習状況の観察 農業クラブ発表会 自己評価
3学期	専門技術と経営管理	栽培管理の知識と技術 経営管理の知識と技術 各種発表会への参加 プロジェクト活動のまとめ	a: 時季に応じた専門知識と経営管理について理解し、基礎的・基本的な技術を身につけている。 b: 時季に応じた専門技術と経営管理における諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c:時季に応じた専門技術と経営管理に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。	実習記録簿 レポート 学習状況の観察	実習記録簿 レポート 農業クラブ発表会	学習状況の観察 農業クラブ発表会 自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度